

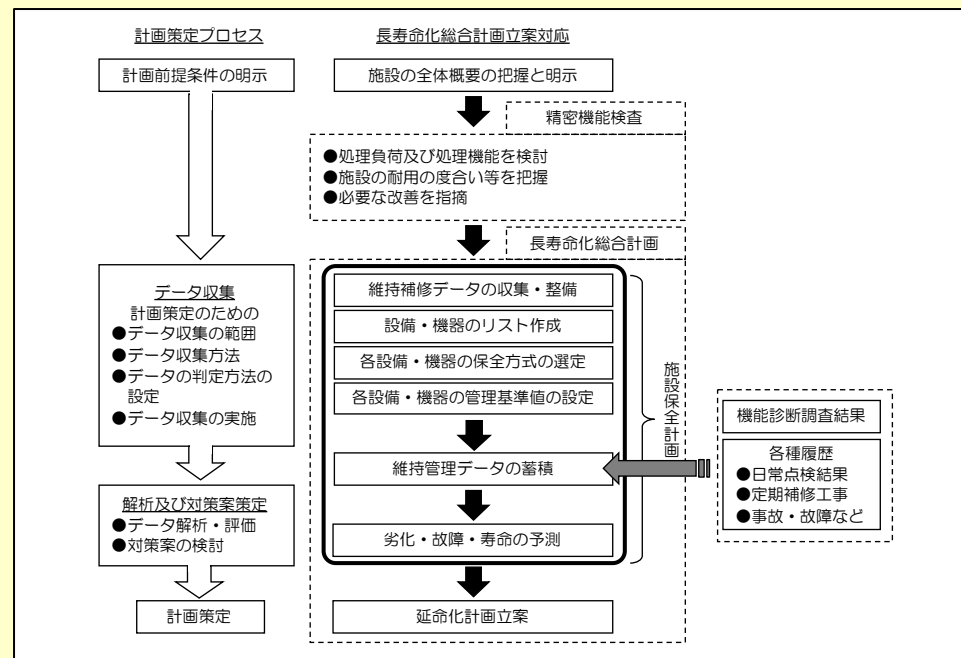
吹田市資源循環エネルギーセンター長寿命化総合計画 概要版

1. 目的

本施設は、平成 22 年 3 月から稼働しており、一般的に稼働年数が 20 年前後で廃止を迎えている施設が多いことや、補修費が年々増大していることから、施設の更新もしくは大規模な改良工事が必要な時期を迎えている。これらの状況を踏まえ、ストックマネジメントの考え方を導入し、日常の適正な運転管理と毎年の適切な定期点検整備、適時の延命化対策を実施することにより、本施設の長寿命化を図るため、計画を策定する。

2. 長寿命化総合計画の構成

長寿命化総合計画は、施設保全計画と延命化計画で構成する。



3. 延命化の目標

本施設の延命化目標年数は、基幹改良後 15 年間とする。

- | | |
|--------------|----------------|
| ①令和 6 年度 | 基幹改良工事の発注仕様書作成 |
| ②令和 7～11 年度 | 基幹改良工事の実施（5年間） |
| ③令和 12～26 年度 | 基幹改良後の稼働（15年間） |
| ④令和 26 年度末 | 稼働停止（予定） |

4. 延命化の費用と効果

施設を更新する場合と延命化工事を実施した場合で比較し、延命化工事を実施した方が有利である。

比較項目	将来の対応	検討対象期間 (令和4年度～26年度：23年間)			
		施設更新する場合(千円)		延命化する場合(千円)	
		社会的割引率を 考慮しない	社会的割引率を 考慮する	社会的割引率を 考慮しない	社会的割引率を 考慮する
定量的比較 廃棄物処理LCC	点検補修費	22,242,517	13,411,136	15,806,416	9,958,124
	建設費	43,200,000	33,915,533		
	延命化工事費			16,500,000	13,002,075
	小計	65,442,517	47,326,669	32,306,416	22,960,199
	残存価値	17,280,000	7,010,951	0	0
	合計	48,162,517	40,315,718	32,306,416	22,960,199
	評価		×		○

用語の説明

定量的比較	物事を数値や数量で表し、比較すること。
LCC (ライフサイクルコスト)	施設建設費、運営管理費、解体費を含めた廃棄物処理施設の生涯費用総計のこと。このうち、点検補修費はオーバーホール、補修のみならず、改造等の費用を含む。
残存価値	固定資産の減価償却に関連する概念の一つであり、法定耐用年数が経過したあとに残る価値のこと。
社会的割引率	将来の価値を現在の価値に置き換えるために設定される値のこと。

5. 焼却灰等リサイクル方法の比較検討

焼却灰等のリサイクル方法は、熔融処理でのリサイクル以外では、セメント原料化等の方法がある。しかし、処理先確保の持続可能性、処理費の増大などで、かなり大きなリスクがあることから、現状どおり熔融処理を継続していく必要がある。

6. 延命化計画のまとめと課題

本施設の延命化工事は、さらに詳細な工事計画の立案、工事期間中におけるごみの安定処理等の計画及び対応が必要になることから、今後、十分な検討と調整を行うものとする。